

明聖TOPICS

発行:学校法人 花沢学園 千葉市中央区本千葉町10-23
明聖高等学校 TEL.043(225)5622

URL:https://www.meisei-hs.ac.jp



3学年

修学旅行

めんそーれ!

3年生、5月15日(月)～5月19日(金)の5日間、今年度は石垣島から沖縄本島へ島をまたぐ修学旅行を実施しました。

川平湾グラスボート

1日目は石垣島にある川平湾で美しいサンゴ礁や様々な海の生物を鑑賞できるグラスボートに乗りました。ユニークな形のサンゴや生のウミガメに大興奮。何度も写真を撮影し、思い出を形に残していました。

離島体験

2日目は各コースに分かれて石垣島周辺にある離島へ行き、自然や文化を様々な形で体験しました。

Aコースでは石垣焼体験と仲間川クルーズを楽しみました。特にマングローブクルーズでは見渡す限りのマングローブの林に圧倒されながら、ゆったりとした船旅を楽しみました。

Bコースでは竹富島へ向かい、レンタサイクルで島内を散策しました。ラー油作り体験では10種類以上のスパイス、トッピングを組み合わせてオリジナルのラー油を作ることができ、完成品の味を想像しながら作成を楽しんでいました。

Cコースでは黒島でウミガメの放流体験を行いました。黒島研究所でウミガメの生態に



美ら海♡

石垣島☆イエーイ! ピース!



ついて教えてもらった後、小さい赤ちゃんウミガメに触れることができました。放流直前のウミガメは専用の計測器でサイズを測り、その成長具合に驚いていました。

Dコースでは竹富島で水牛車に乗り、島内を観光しました。水牛のゆったりと、しかし力強い足取りに引く張られながら竹富島特有の赤瓦屋根の民家群を眺めました。

Eコースでは小浜島でシュノーケリングを体験しました。サンゴやクマノミをはじめ、海の自然を間近に感じる事ができました。

黒島研究所にはたくさんの生き物がいてカメにさわることもでき、とても良い体験ができました。ウミガメの放流は少し悲しさもありましたが、沖縄のきれいな海で楽しく泳いでくれたら嬉しいです。ウミガメの放流は簡単にできることではないのでとても貴重な体験ができました。(3-3 上田 優衣)

🌸 美ら海水族館

沖縄を代表する海の生き物たちを見て回りました。特に世界最大級の水槽である黒潮の海では巨大なジンベイサメやナンヨウマンタを間近で見ることができ、水槽の壁に近づいた瞬間を狙って記念撮影をしていました。

🌸 おきなわワールド

沖縄の文化や自然を学べる様々な施設を園内に流れる沖縄の伝統音楽とともに見学しました。またシーサーの絵付け体験では本格的なシーサーの像に自由に色付けを楽しみました。



🌸 ひめゆり祈念資料館・平和祈念公園資料館

沖縄で起きた戦争での惨劇と平和について学習しました。ガイドの方から何う当時のリアルな状況、心情に皆真剣に聞き入っており、資料館の資料ひとつひとつを熱心に見ていました。

戦争は私達が思っている以上にひどく悲しい出来事でした。防空壕は他の場所です一度中に入ったことはありませんでしたが、その中で患者の治療をしたり手術をしていたと思うと、想像をはるかに超える過酷な経験をしていると思いました。(3-12 田口愛香)



🌸 首里城・国際通り

最終日は首里城守礼の門で記念撮影をした後、城内を見学しました。正殿を含む、木造の多くの部分は令和元年の火災により焼失していたため、城壁など石建築と再建工事の様子を見て回りました。最後は国際通りで班別行動。沖縄料理やお土産の購入を楽しんで最後の思い出作りに励んでいました。



ほいたい!

またやーさい!



令和5年度
2学生
キャンプ研修

6月6日(火)～7日(水)に2年1・2組が、6月7日(水)～8日(木)に3・4組がロマンの森共和国にて一泊二日のキャンプ研修を行いました。
2年生にとっては、入学後初の宿泊研修です。
施設に到着し、昼食をとったあとは、初めてのテント設置です。みんな悪戦苦闘していましたが、仲間たちと協力し合い無事に設置することができました。



楽しい～!



3・4組は前日の雨天の影響で、テントは1・2組が設置してくれたものをそのまま使用しました。クラスの垣根を越えてコミュニケーションを取る姿がとても印象的でした。

ピース!



テント設置後には、施設内にあるレクリエーションエリアに向かいました。施設には本格的なアスレチックや巨大迷路、パターゴルフ、スワンボート、釣り堀、おもしろ自転車があり、みんなハッラッとした笑顔で、汗だくになりながらレクリエーションの時間を楽しんでいました。

最初におもしろい形をした自転車に乗って、とても楽しかったです。その後の迷路では、思ったよりも簡単にクリアできて大人になったなと感じました。最後にアスレチックをしましたが、凄く久しぶりにできて楽しかったです。子どもの頃に帰った気分が遊ぶことができました。またやりたいなと思いました。

(214 天野 姫花)
レクリエーション後は夕食作りです。初めての火起こしに苦戦する生徒が見受けられましたが、慣れないことにも果敢に挑み、ここでも、クラスを問わず協力し合う場面が多く見られました。調理中はカレーの仕上が



うまい!

りに不安を感じている班もありましたが、最後には、自分たちの作ったカレーを満面の笑みで堪能していました。

カレーを一から作ることは久しぶりで、カレー粉から作るの初めてだったので、思ったよりも難しかったです。特に水の分量は途中から少なくすることができないので、間違えたらどうしようと思いましたが、カレー粉を足したら、しっかり味が整ったので良かったです。

(211 土金 百々花)

テント完成!



1・2組は雨天のため、バンガローで就寝することができましたが、3・4組は夜中の寒さからなかなか寝付けなかった生徒がいるなど、2日目の朝は、疲労の色がうかがえました。しかし、朝食作りが始まると、前日の経験を生かし、どのクラスもテキパキと作業をすることができました。急な行程変更にも臨機応変に対応し、充実した2日間を過ごすことができました。

今回の研修は、学年での交流も深まった研修となりました。この経験を来年のスキー研修に生かし、更なる成長を見せられることを期待しています。

体育スクーリングに行ってきました♪

7月14日(金)、千葉ポートアリーナにて、今年度、第1回体育スクーリングを実施しました。

今回は、午前日程にて全学年合同で行いました。実施内容は、男女に分かれドッジボール大会です。体育スクーリングでは、生徒に種目アンケートを実施しています。今回は投票の結果、ドッジボールとなりました。特に、体力に自信のある生徒は、周囲を引っ張り、真剣に取り組む姿が見られました。

ちょうど梅雨時の湿度の高い中でしたので、みんなが頑張れば頑張るほど体育館の中は熱気が増していきました。いい汗を流し、クラスや学年を超え、交流を図ることができたのではないのでしょうか。



部活動報告

◆硬式野球部◆

『第105回全国高等学校野球選手権千葉大会』

夏の高校野球千葉大会が7月8日(土)に開幕しました。明聖高校は1回戦シードの為、2回戦からの登場でした。初戦はゼットエーボールパークにて、1回戦の開幕ゲームをコールド勝ちで突破してきた袖ヶ浦高校との対戦でした。

【2回戦】

2回裏、袖ヶ浦高校に四球による出塁と強風による内野安打で失点を許します。明聖高校の反撃は4回の表、3番片山(313)が相手のエラーで出塁し、続く別府(311)、兵頭(313)、北島(312)の連打で逆転に成功、さらに相馬(313)の技ありのスライズで追加点を奪取します。膠着した展開の中でエース片山が負傷し、6回途中で無念の降板をするも、2番手北島による魂のリリーフで後続を断ちます。7回、8回に追加点を重ね、7対4で迎えた最終回の攻撃。まずは1人、1点を取ろうという想いにより打線が爆発します。相手の失策も重なり7点の追加点を奪い14対4。裏の守備は1年生右腕の森内(115)が先頭にヒットを許すも無失点に抑え、3回戦進出を決めました。

【3回戦】

続く3回戦は強豪校の暁星国際高校が相手でした。初回、明聖高校の攻撃は驚異の出塁率を誇るリーディングヒッターの吉田(312)。先頭が出て勢いづけたところでしたがサードゴロに倒れます。後続も続かず三者凡退となりました。守

りからリズムを作りたい1回の裏、この日も先発は左腕片山。コントロールが魅力ですが、細かな制球が乱れ先頭に四球で出塁を許します。続く2番打者は三振に切つて取りますが、猛打の暁星国際打線に捕まります。ヒットと四球を挟みいきなり4失点で苦しい立ち上がりとなりました。3回にも1失点しますがその後試合は膠着し0対5、8回表の明聖高校の攻撃。9番砂塚(111)に代わり代打の切り札である一瀬(214)が登場。期待に応え左前安打で見事に塁します。一気の反撃と行きたいところですが、後続が続かず無得点に終わります。8回裏、この日も炎のリリーフをしていた北島ですが、暁星国際の攻撃でさらに1点を失ってしまいます。さらにピンチが続きもう1点を許すとコールド負けという展開で北島が踏ん張りました。0対6で最終回の攻撃に望みを繋ぎます。先頭は打線を支え続けた4番別府。フルスイングで打球を捉えるもセンターフライに倒れ1アウト。続く兵頭も倒れ、絶体絶命の場面で好リリーフを続けてきた北島に打順が

回ります。出塁が絶対条件のプレッシャーがかかる中、見事左前安打で出塁し望みを繋ぎます。しかしながら相馬がサードゴロに倒れゲームセット。0対6で敗戦となりました。

新チームとなり、順風満帆とは言えない中で苦しみを乗り越え、ようやく迎えた夏の大会でした。高校野球とは勝つことだけが目的ではなく、挫折や失敗を乗り越え糧とすることが重要です。敗れたものの、多くの感動を与えてくれた部員には感謝しありません。本当にありがとうございます。

また、応援団、チアリーディング、吹奏楽、応援していただいた先生方、生徒のみなさんありがとうございます。そして多くのご支援ご声援をいただいた保護者の皆様にも感謝申し上げます。今後とも明聖高校硬式野球部の応援をよろしくお願いたします。(硬式野球部顧問竹内)

編集後記

今年は例年以上に猛暑日が続いています。明聖生からは、この暑さに負けないくらい熱い報告が届きました。

硬式野球部の夏季大会は残念な結果に終わりましたが、負けた悔しさを、今後の部活動の発展に繋げてくれることを信じています。そして、練習に励み、最後まで諦めずに戦った選手たちには大きな感動をもらいました。

さて、9月からは、球技大会、体育祭、学園祭など、学校行事が盛り沢山です。次号では、更に生徒たちの一生懸命な姿を、数多く報告していきます。夏休みを有意義に過ごし、充実した姿や元気な顔に会えるのが今から楽しみです。

荒井 朝陽

